

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(令和4年9月7日実施)

	図 書 名 等	聴 き 取 り 内 容
1	<p>BAMBOO COMICS REIJIN uno! メスイキ☆メルトダウン</p> <p>令和4年8月19日発行</p>	<p>暴力的な場面はないが、相手の弱みにつけこんで一方的な恋愛感情を押し売りする展開は、コミカルである一方、不快感も禁じ得ない。性的交渉の場面が多すぎるし、物語の展開もそれのみを目的にしていると思われる。性器の形状もはっきりしており、擬音も多い。指定該当。</p> <p>コミカルなタッチの絵とストーリーで人格否定はあまり感じない。しかし、強引にセックスに持っていく描写がある。前編はおとなしいセックス描写だが、後編は裸体での描写、挿入時の描写と激しい。また、性器も線を多用し修整されているが血管も描かれて誇張されている箇所もある。卑わい感は拭えない。指定該当。</p> <p>社内恋愛BLコミック。若干の強制がみえるが許容範囲。画力もあり、物語もしっかりしている。全ては性器・男性器の消しの甘さ。この消し方だと逆に誇張してみえる。さらに性器の登場回数が青年レベルを超えている。指定該当やむなし。</p> <p>性器修整は配慮されており、人格を否定する性的行為を容易に連想させるとも言えないが、酔った状態ではっきりした合意のない性的行為が描かれている点が気になる。保留。</p> <p>主人公と主人公に好意を寄せる二人のラブ・コメディ。人物の性格や特徴を丁寧に描こうとしており、卑わい感はなく、一般的な読後感。性器の描写は白線の主線と白い修整線の混合による方法、トーンで型を作ったうえでの白いギザギザの修整線による方法、普通に墨の線で描いた上から白いギザギザの修整線を入れる方法、それぞれのラブなバージョンなど工夫されているが、性器とセックスシーンが二人の関係を表す肝となっているため、器具の描写の回数や酔ったままでのセックス描写を含めて総合的に判断し、保留。</p> <p>拒みながらの性行為であるものの、人格否定ではなくストーリーに問題はない。性行為の描写は少し気になるものの卑わいな感じはない。ただ道具・器具を使用している点について同意があるととれるものの判断が別れると考える。保留。</p> <p>全体的にコミカルで同僚二人の男性の間関係を描いた恋愛もの。性描写は全体の1/3に及ばず、多くのページが二人の不器用な言葉のやりとりで割られていてストーリー性もしっかりしている。絵のタッチは卑わいと言うものではなく、性器の修整はなされている。道具が登場するが人格否定的ではない。指定非該当。</p> <p>噛み合わない様で噛み合っている2人の織り成す物語。コミカルさゆえか、卑わい感は大きくない。器具等は文脈的に人格否定とまでいかない。後半性器の消しが薄く、形や質感が分かる。局部・挿入部を強調しているようにもみえるが、修整が大きい。大変迷うが、指定非該当。</p> <p>コミカル調の成人カップルのBL作品。自慰行為をとっかかりにストーリーが展開されていくが、二人のキャラ性とコミカルなせい、性交シーンを見せたいだけの作品とは思わない。器具の描写と性交シーンが交錯する内容だけに修整には一層の配慮が必要だとは感じるものの、指定非該当。</p> <p>最初の性交は酔った相手に対する一方的なモノで、人格否定とも取れなくもない。しかし、物語を読み進めていくと、2人の恋愛感情の交わりやスレ違いを上手に、しかもコミカルに描いた作品だと分かるのでストーリー上の問題性はあまり感じない。性交シーンがやや多いとは思われるものの、性器修整の配慮は見てとれ、体液描写も含め、それほど卑わいには感じない。指定非該当。</p> <p>姿態描写の点で、性器の修整が一部甘く、結合部のアップのコマもある一方、人格否定はない。作画の淡白なテイストと頻繁なギャグのため、卑わいさが感じられない。よって、施行規則の基準を一部満たすものの、著しく性的感情を刺激し、青少年の健全な成長を阻害するおそれがあるとまでは認められない。指定非該当。</p> <p>BLコミック。ラブコメであり卑わいな感じを与えるということには該当しない。指定非該当。</p>